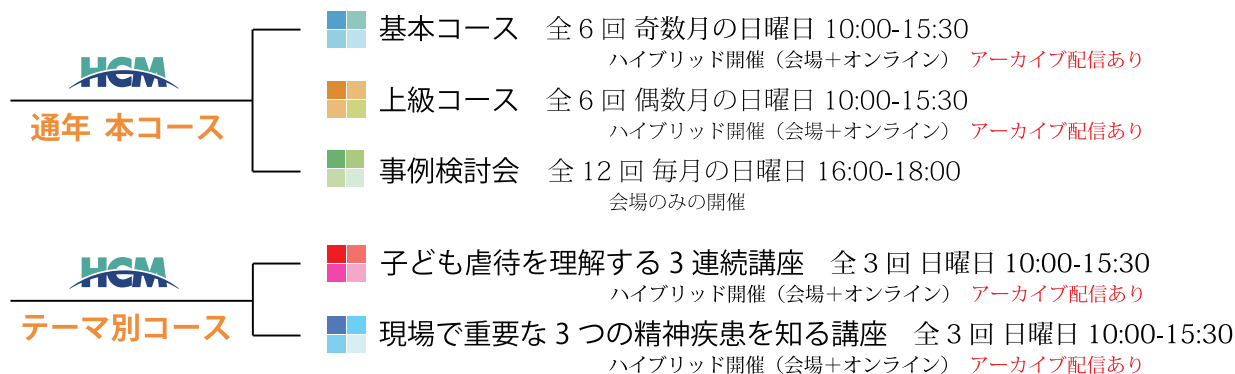


1年で学べる！全12回 「見立て」ができると支援が変わる

相談援助のための〈見立て8型〉メソッド

HCM カウンセリングセミナー 2026 全コースご案内



HCM カウンセリングセミナーは、医師・看護師・公認心理師・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士・養護教諭など、現場を持つ専門家の方々を対象にした講座で、開催して22年目になります。このセミナーの基盤となっている理論は、**①〈見立て8型〉メソッド**と**②HCM カウンセリング技法〈葛藤崩壊療法〉**の2つです。

①〈見立て8型〉メソッド：人は社会の中で人と一緒に生きていこうとし、人との関係が上手くいかなかった時に「悩み」か「不適応」、そのどちらかを抱えます。見立てとは、治療者や支援者がこの二つの本質を見定めることであり、これらは類型化が可能です。当セミナーは、この見立てを8つに分類します。

まず、**悩み**とは、人と上手くやれず、人から承認されない不安や孤立を抱き、自分に原因があると自分を責める心的葛藤です。これらは、成人期、思春期、学童期という心理発達段階、そして愛着形成（虐待被害の有無）という二つの軸によって、悩みの様式や症状は質的に全く異なるものとなります（悩み4型）。

また**不適応**とは、脳機能障害によって対人的理解力が低下し、トラブルが生じて周囲が困っている状態です。これら不適応は疾患によって内容が決まりますが、セミナーでは有病率が高く、誤解の多い「軽度」知的能力障害を筆頭に、他の三つの代表的な脳機能障害を取り上げます（不適応4型）。

以上、脳機能障害、愛着形成、そして心理発達段階という三つの軸線による見立ての8分類法とそれを見極める方法が〈見立て8型〉メソッドです。支援が行き詰まる困難事例は、そのほとんどが見立ての誤りによるものです。

これらの見立ての枠組みを持てると、ケースの理解が飛躍的に進み、支援者側も安心してクライアントに向かい合えます。

②HCM カウンセリング技法〈葛藤崩壊療法〉とは、傾聴を軸とするカウンセリング技法で、カウンセリングの開始から終結までを3つの段階、すなわち、第Ⅰ期 - 不安・抑うつ期、第Ⅱ期 - 崩壊期、第Ⅲ期 - 再生期に分けて考えます。これらは、悩みや不適応が生じて治療支援が始まると、それがどう解決し、どう再生していくか、その回復のステップでもあります。

第Ⅰ期-不安・抑うつ期では、傾聴に徹したカウンセリングを行います。いわゆる「支持的精神療法」と同じもので〈見立て8型〉の全てのクライアントに適用できます。

一方、第Ⅱ期 - 崩壊期、第Ⅲ期 - 再生期は悩みの本質である「葛藤」を扱いその解決（葛藤の崩壊）を目指します。〈見立て8型〉のうち、「悩み」を抱えたクライアントである4つの「見立て」に適用できます。

これら各段階の傾聴技法が「5ステージ傾聴技法」であり、実践の方法とそれによる葛藤解決の機序が解説されます。

■ 講師 ■ **高橋和巳**（精神科医・風の木クリニック）
■ **野口洋一**（公認心理師・あさくさばしファミリーカウンセリングルーム）

■ 基本コース (全6回・奇数月の日曜日)

講義+模擬事例演習 (会場+オンライン配信)

10:00-12:00 / 13:00-15:30

*ランチョンセミナー (12:30-12:55)

事例検討会 (会場のみ)

16:00-18:00

後日、アーカイブ配信あり

1月18日

第1講 〈見立て8型〉メソッドと傾聴技法

見立ての作り方とその理論、傾聴の意味と技法

私たちは支援の中で、時に間違った対応をしてしまうことがあります。多くの場合、それは相談者の悩みを、自分自身の経験と重ね合わせて理解してしまい、本質を見ていないことが原因です。自分の体験から離れ、その人そのものの悩みに向き合うために必要なのが「見立て」です。当セミナーでは、見立てを8型に分類しています。中には、当セミナー独自の概念もあり、初めは戸惑うかもしれません。しかしこの8型の理解が腑に落ちると、治療やケースワークの進め方が格段にスムーズになります。正しい「見立て」を身につけ、日々の支援の質を高めていきましょう。

受講者の一口メモ

◆これまで「相談者はこんな感じの人」と曖昧に見立てていましたが、8型を知り、しっかり見立てる方法を学ぶことができました。また、診断名を頼りに相談者と関わっていましたが、傾聴することで正しく見立てていきたいです。◆模擬事例や解説が分かりやすく、正確な見立ての重要性を実感しました。◆本人の話したことや行動から見立てをして8型に分類する、例外なしというシンプルな方法は分かりやすく、深めていけば実践で使えると思いました。

3月8日

第2講 成人期の心的葛藤とその精神疾患

うつ病、パニック障害、AL依存症の理解 / 成人期カウンセリングの方法

「成人期」とは、社会のルールを理解し、それに従って生きる大人——つまり私たちのことです。精神分析や心理学、カウンセリングの諸理論は、その対象としてこの「成人期」を暗黙の前提にして構築されています。しかし、この前提を意識しないまま、思春期やほかの見立てに当てはめようと、理論通りに支援が進まず、混乱が生じます。本講義では、社会の中心を担う成人期の心理発達、成人期特有の心的葛藤とそれに基づくカウンセリング技法について詳しく解説します。

受講者の一口メモ

◆成人期は自分に照らし合わせて考えられるので、自分自身のことも振り返りました。演習事例では、面接方法を学べ、実践でも取り入れたいと思いました。◆成人期の発達段階について、初めて知りました。成人1期はまだ緊張があり、2期になると「父母性」を獲得して安定するというのが、講義と事例を通して理解できました。◆相談を受ける際に、クライアントの見立てについて以前より明らかになっていくのがわかります。困難に感じていたケースも、成人期を学ぶことではっきりと理解できるようになりました。

5月17日

第3講 思春期の心的葛藤 / 親子葛藤とその精神疾患

不登校、摂食障害、自傷行為の理解 / 親と子のカウンセリングの方法

思春期とは、学童期から成人期への「移行期」です。実は、思春期が問題化することは稀で、9割以上の子どもは大きな問題を抱えることなく成長していきます。一方、全体の数パーセントの子どもたちは、思春期に問題を抱えます。その背景には多くの場合、親の側に原因があります。親の見立ては、①「軽度」知的能力障害、②成人学童期、③被虐待者「異邦人」、④成人期の4つのパターンで、子どもの不適応問題・症状(摂食障害、強迫性障害、引きこもり・不登校・家庭内暴力、依存・非行)も異なります。それぞれの親子の心の動きを見ていきましょう。

受講者の一口メモ

◆思春期の問題解決法として、親を見立てるというアプローチが新鮮でした。カウンセリングの対象が明確になったことは有益でした。◆事例を通して、子は母に愛着を求め、何とか応えようと苦悩する母はカウンセリングに支えられる。癒やし、癒されていく過程に心が揺さぶられました。◆母親と子の両方から見立てが肝心であるとわかりました。母子の感情がどう動いていくのか、表面に現れている言動の背景にある心の動きを理解して関わっていききたいです。

初めて参加される方はこの基本コースからご参加下さい（推薦）。

基本コースは、「見立て8型」の基本理論と傾聴技法を最初に学びます。次いで人の心を理解する基準となる「成人期」、心理発達上最大の移行期である「思春期」、そして数が多く、且つ誤解が多く困難事例化しやすい「軽度」知的能力障害を学んで、初めて被虐待者「異邦人」の心の理解が可能になります。基本コースは次のように構成されています。

- 講義＋模擬事例演習 (10:00～15:30)：会場＋オンライン配信
＊12:30～12:55 はランチョンセミナーを実施します。（任意参加・2026年からオンライン配信）☞ P6
- 事例検討会 (16:00～18:00)：会場のみ実施（オンライン配信なし）。事例検討会のみ受講も可能です。☞ P6
- アーカイブ配信：（セミナー実施日の3日後の水曜日から14日後の日曜日）：講義＋模擬事例演習を見逃された方や復習したい方のために、オンライン配信された講義動画のアーカイブ配信をします。☞ P9

7月12日

第4講 「軽度」知的能力障害と子ども虐待

その特性（共感不全）／環境調整／子ども虐待との関連性と介入方法

当セミナーでは、「軽度」知的能力障害（以下、「軽度」MR）を、軽度知的能力障害・境界知能・学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）を含む広い概念として定義して考察していきます。様々な支援現場で問題となるのは、この「軽度」MRの領域です。この領域にある方々は、対人関係の理解が未熟で幼いという特徴から、様々なトラブルを引き起こします。さらに「軽度」MRの方は、相手の心理を推測すること（共感）が難しく、母親に「軽度」MRがある場合、子ども虐待の要因になります。本講ではこの「対人関係の理解の未熟さ」について詳述し、さらに「軽度」MRと虐待の関係や、被虐待児の心理状態（心の傷）についても取り上げます。

受講者の一口メモ

◆IQでは測れない社会性の未熟さを、言動を通していかに察知するかの重要性を実感しました。
◆MRかどうか迷う時は、子への共感能力の有無を鑑別する観点でアセスメントすることの大切さを知りました。
◆これまで、「良い」と思い込んでいた支援に対して、改めて考え直すきっかけとなる講義でした。
◆MRの方はなかなか改善せず、他責でクレーム化しやすいですが、学んだ通りの対応で関係を作ることができ、子ども本人への働きかけがしやすくなりました。

9月27日

第5講 被虐待者「異邦人」と愛着障害

解離性障害、複雑性 PTSD、過剰適応の心理／そのカウンセリング方法

被虐待者「異邦人」は、当セミナーの中心となる概念です。被虐待者「異邦人」とは、軽度知的能力障害の母親（もしくはそれに代わる養育者）に育てられ、母子間の愛着関係を築けないままに成長した人です。「軽度」MRの母親は、愛着を形成する力がないので、子は愛着が「ない」状態で成長します。十分な愛情をもらえなかった彼らは、心の奥底では常に愛着を求めながらも、それは得られないと断念して（愛着の否認）、孤立したまま様々な生きづらさを抱えて生きています。本講義では、被虐待者「異邦人」が抱える問題、身体・精神疾患とその背景にある心理（愛着障害）について詳しく解説します。

受講者の一口メモ

◆体系的に学ぶことができ、異邦人に共通する緊張や苦しみ、孤独を感じることができました。その苦しさの深さを知り、いかに異邦人が頑張ってきたかを思い知らされました。
◆愛着の否認について、自己愛とは何か、異邦人がなぜ幸せな状況になりそうなところから逃げちゃうのかについて理解が深まりました。
◆心理学の進んできた流れ、特にハーマンやコフートの内容なども説明しながら、異邦人についての解説があり、とても興味深い内容でした。

11月15日

第6講 大人の愛着障害 / 応用模擬事例演習

3つのレベルの愛着障害、生涯発達における愛着理論

基本コースのまとめとして、5ステージ傾聴技法（黙って聴く、賛成して聴く、感情を聴く、葛藤を聴く、理解を伝える）と心の成長の3段階と6つの感情（不安、抑うつ、怒り、恐怖、悲しみ、喜び）の流れについて、事例を通して見ていきます。さらに2025年より、本講義の中で高橋先生が著書「大人の愛着障害」をもとに、大人の愛着障害の3つの重症度とそれに伴う人生の制限について解説します。愛着の理解を深め、支援の視点を広げる学びを一緒に進めていきましょう。

受講者の一口メモ

◆事例演習では、クライアントの言動をB軸→A軸→C軸基準に沿って見立てていく、その裏付けの解説が大変勉強になりました。いきなり支援せず、間違ってもいいからまず見立てを作る！これを実行していきたいと思います。
◆長いカウンセリングを経て、人が変化する様子に感動しました。正しい見立て、正しい関わり方が大事だと思いました。
◆鍵となる言葉や感情を丁寧に説明・解説いただき、とても分かりやすかったです。事例で彼の心が広がり生まれ変わっていく様子は、涙ながらに学ばせていただきました。



上級コース

講義・演習内容

葛藤崩壊療法 / 「成人学童期」・自閉症・統合失調症・認知症・パーソナリティ障害

■ 上級コース (全6回・偶数月の日曜日)

講義＋模擬事例演習 (会場＋オンライン配信)

10:00-12:00 / 13:00-15:30

*ランチョンセミナー 12:30-12:55

事例検討会 (会場のみ)

16:00-18:00

← 後日、アーカイブ配信あり →

2月15日

第1講 〈見立て8型〉の展開と葛藤崩壊療法

〈見立て8型〉の全体 / 葛藤崩壊療法の3期と5ステージ傾聴技法

①〈見立て8型〉と②〈5ステージ傾聴技法／葛藤崩壊療法〉は、当セミナーの二本柱です。この回、①では、基本コースで学んだ理論をさらに掘り、家族コンステレーション(家族員の見立ての配置)という見立ての技法を学びます。また葛藤崩壊療法の考え方の基本は、カウンセラーが①正確な見立てを作り、②傾聴すれば、クライアントは自分の力で「悩み」を解決していく、というものです。人が葛藤にどう向き合い、どのようにして悩みを解決していくのか、そのプロセスを丁寧に学んでいきましょう。

受講者の一口メモ

◆実際のカウンセリングに役立つ技法・ステップ毎の注意点等盛りだくさんの内容で非常に勉強になりました。◆葛藤崩壊療法の具体的な事例を聞き、こんなにエネルギーが必要で、苦しいものとイメージできました。◆事例演習は特にためになります。正しく見立てするには、8型のすべての分類についてしっかり学ぶ必要があると思いました。情報を集めて見立てを立てる難しさはありますが、何よりも、今まで持てなかった指針をもって聴けるというのは非常に大きな違いになります。◆事例の中で、崩壊葛藤療法の凄さと、傾聴だけでもドンドン進んでいった経過に驚きました。

4月19日

第2講 学童期と「成人学童期」の心的葛藤と精神疾患

身体化症状・拒食症・不登校 / 「成人学童期」の母を持つ子の問題

成人学童期とは、思春期葛藤(親子葛藤)を越えられずに「学童期」の心性にとどまったまま大人になった人です。彼らは、成人の心理発達である「自己責任」と「父母性」を獲得していません。外見は大人ですが、心理的な対人理解・社会理解は「小学生のまま」です。本講義では、成人学童期の母親の子育てや子どもに起きる問題についても詳しく説明します。この概念を理解すると、<こじれた思春期>が見えてくるようになります。

受講者の一口メモ

◆「成人学童期」という概念が加わったことで見立てが豊かになりそうです。◆考え方が浅く、自信たっぷり、子育てや生き方に葛藤がないので、逆にこちらが揺らぎますが、そういう方は成人学童期だったとわかりました。◆成人学童期の演習事例は事実の羅列が多く、心情の吐露が乏しいためか、聞いていて「つまらない」印象です。これが成人学童期の特徴のひとつかと納得しました。◆成人学童期の場合、知能は正常のため一見まともな成人期に見えてしまうのですが、先生のいう「感情を聴く」ことでその違いを見分けられることを実感しました。

6月14日

第3講 統合失調症と統合失調型障害

遺伝子と多因子疾患 / 急性期・慢性期の症状、心理、その治療と支援

本講義では、統合失調症と遺伝との関係について詳解しながら、精神医学的な視点を学びます。統合失調症は脳機能障害です。急性期・慢性期の症状と疾病の経過について理解を深め、治療のポイントを押さえていきましょう。さらに、家族支援にも触れますが、ここでも「家族の見立て」が重要です。統合失調症の親族の有病率は約10%です。統合失調症の本人の母親に統合失調症、もしくは統合失調型障害がある場合、母親として責任ある行動を取れません。家族も含めた見立てを学んでいきましょう。

受講者の一口メモ

◆急性期と慢性期との違いと、一見似たように見える慢性期、軽度知的、被害者との違いを知ることができ、とても有効でした。◆統合失調症の方にカウンセリングは役に立つのかと疑問があり、高橋先生から「カウンセリングは統合失調症の症状には効かないが、聞いてもらうことが、この障害を抱えて生きていくというサポートにはなる」とお答え頂き、実践での心構えが出来ました。◆統合失調症の見立てを改めて学ぶ貴重な機会でした。患者の家族と関わる中で、家族に違和感をもつ経験も多かったところ、今回の講義で家族の見立ての必要性を感じました。

「現場で重要な3つの精神疾患」と合同

基本コースを終えられた方はこのコースにお進みください。カウンセリング・精神医学の知識を持っている方は最初から参加することも可能です。上級コースは、基本コースで学んだ〈見立て8型〉の基礎理論を愛着視点からさらに深め、学童期・「成人学童期」という心理発達段階と重要な精神疾患群の3つを加えて、〈見立て8型〉を完成させます。また「成人学童期」は、被虐待者「異邦人」と並んで当セミナー独特の概念です。上級コースは次のように構成されています。

- 講義＋模擬事例演習 (10:00～15:30)：会場＋オンライン配信
＊12:30～12:55 はランチョンセミナーを実施します。（任意参加・2026年からオンライン配信）☞ P6
- 事例検討会 (16:00～18:00)：会場のみ実施（オンライン配信なし）。事例検討会のみ受講も可能です。☞ P6
- アーカイブ配信（セミナー実施日の3日後の水曜日から14日後の日曜日）：講義＋模擬事例演習を見逃された方や復習したい方のために、オンライン配信された講義動画のアーカイブ配信をします。☞ P9

8月23日

第4講 発達障害・自閉症スペクトラム障害（ASD）

発達障害の全体 / 事例から理解する ASD 特性 / 誤診されやすい疾患

自閉症スペクトラム障害(ASD)は、発達障害の中でも特異的、異質的な「社会・対人理解」「対人交流の仕方」を示します。軽度知的能力障害(MR)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)の3つの発達障害は、同年代に比べて対人関係の理解が幼いことが、社会適応を難しくする原因です。一方ASDは、まったく「異質の対人理解」のために不適応を起こします。本講義では、3つの発達障害と比較しながらASDの症状を詳しく解説します。さらにASDは、被虐待者「異邦人」が誤診されやすい診断でもあります。ASDと誤診された自分史の2冊の著作について紹介し、被虐待者がどのようにして誤診されるのかを解説します。

受講者の一口メモ

◆支援者の十分な理解があつて初めて、発達障害の方々の支援(環境調整)がうまくいくと感じました。◆ASDと軽度知的能力障害の関係性や違いがあいまいでしたが、全体像をつかむことができました。◆ASDに見える被虐待者がいる一方で、一見ASDには見えないが、実際にはASDであった事例もわかり、改めて見立ての大事さを感じました。◆実際に会ったASDの方に違和感を覚えることがあり、実はASD診断に誤診が多いということを聞いて良かったです。

10月25日

第5講 認知症・高次脳機能障害

脳の構造 / 発症と能力低下による「喪失体験」 / 家族の心理と介護問題

認知症と高次脳機能障害はどちらも、一度正常に発達し、獲得された心理機能や知的機能(記憶・注意・実行機能・社会的認知機能など)が、脳の器質的な障害(病気・外傷など)によって後天的に低下するという共通点があります。本講義では、脳の構造と機能を詳しく解説し、脳のどの部分が障害されるとどんな症状が出るのかを知り、認知症や高次脳機能障害の精神医学的理解を深めます。病気の経過と症状、心理状況を理解することで、支援の方法がみえてきます。また、認知症の親を抱え、うまく対処できている家族と「混乱している」家族がありますが、その違いはどこにあるのでしょうか。事例を通して、家族の「見立て」にも着目していきましょう。

受講者の一口メモ

◆介護する家族が成人期なのか、成人学童期なのかMRなのか…といった視点でアセスメントし、支援の方針を考えるということを学びました。この視点を獲得することで、より相談者の立場に立った支援ができたらいいな、と思いました。◆脳の構造のお話、とても分かりやすく、興味を持ちました。認知症になる前の見立て(健常だったのか、統合失調症や知的障害だったのか、など)をしないと、間違った支援に労力ばかりかけてしまうと感じました。

12月20日

第6講 パーソナリティ障害と共依存を見立て直す

論点の多いこの疾患概念を、起源と系譜から分析し〈8型〉で見立て直す

「パーソナリティ障害は、『ない』?」——本講義では、DSM-5に記載されている10種類のパーソナリティ障害を取り上げ、その診断方法と問題点に言及しながら、「見立て直し」を行います。実は、パーソナリティ障害の中には、「軽度」知的能力障害と、被虐待者「異邦人」の特徴が明確に切り分けられていないものがあり、これがしばしば困難事例の原因となっているのです。これらを歴史的背景から紐解き、DSM-5、ICD-11に至る改訂内容にも言及し、なぜ〈見立て8型〉にパーソナリティ障害が入っていないかが解き明かされます。

受講者の一口メモ

◆パーソナリティ障害が、いかにあいまいなものがよくわかりました。同時に、見立て8型がとてもクリアでわかりやすいものだと再認識しました。◆パーソナリティ障害は、わかったようなわからないような感じでしたが、高橋先生のパーソナリティ障害は「反社会性パーソナリティ障害」だけで、私たちの周囲に現れることはそうそうないと言われた言葉がストンと腑に落ちました。◆この1年で、これまでのモヤモヤが晴れ、ケースワークがとてもスムーズになりました。



事例検討会

参加者から提出された現在進行形の事例を検討します（守秘義務厳守）

事例検討会（会場のみ） 16:00-18:00

全 12 回
毎月日曜日

GSV(グループスーパーヴィジョン)

毎月の本コース（基本コース・上級コース）の終了後に実施します。本コースから引き続いて参加される方と、事例検討会から合流する方がいます。

参加者から提示された事例をその場で分析していきます。2時間で1～2事例を行います。

受講者の一口メモ

◆面接の発言から、クライアントの知的能力を推測する方法や、本人の心情を理解する方法を改めて確認することができました。◆深刻な事例を淡々とひも解いていく解説が印象的でした。カウンセラーとしての視点や姿勢を学ぶことができました。言葉以上に、人の理解の深さを感じる時間でした。



テーマ別コース

講義・演習内容

子ども虐待を理解するための3連続講座・現場で重要な3つの精神疾患を知る



子ども虐待を理解するための3連続講座

10:00-12:00 / 13:00-15:30

ランチンセミナー（12:30-12:55）

後日、アーカイブ配信あり

5月31日

1. 虐待が起こる原因・虐待研究レビュー・回復事例詳解

< このテーマ別コースのための特別開催回です >

7月12日

2. 「軽度」知的能力障害と子ども虐待

< 基本コース第4回と合同開催です >

9月27日

3. 被虐待者「異邦人」と愛着障害

< 基本コース第5回と合同開催です >



現場で重要な3つの精神疾患を知る講座

10:00-12:00 / 13:00-15:30

ランチンセミナー（12:30-12:55）

後日、アーカイブ配信あり

6月14日

1. 統合失調症と統合失調型障害

< 上級コース第3講と合同開催です >

8月23日

2. 発達障害・自閉症スペクトラム障害（ASD）

< 上級コース第4講と合同開催です >

10月25日

3. 認知症・高次脳機能障害

< 上級コース第5講と合同開催です >

ランチンセミナー 基本コース・上級コース・テーマ別コース 各回 12:30～12:55

ランチンセミナーとは、昼休みを利用してランチを取りながら参加できる小セミナーです。当日の講義や演習事例に関連するテーマやトピックを取り上げ、〈見立て8型〉でそれらを深掘りします。（2026年からオンラインで配信実施。）

2025年実施テーマ例：ボウルビー不安定型愛着の成人像、被虐ママのコンステレーション詳解、ギフテッド試論—giftedを〈見立て8型〉から見立て直す、統合失調症に誤診される外傷性障害—中井久夫の外傷性障害概念レビュー、心理的ネグレクト—それをクライアントはどう語ったか、など。2026年も様々なトピックを取り上げます。



■ クライアントの見立て、家族コンステレーション、見逃している葛藤、解決像と今後の方針

〈見立て 8 型〉〈5 ステージ傾聴技法〉〈葛藤崩壊療法〉

事例の提示方法は別途詳しくご案内しますが、あらかじめプリントを用意する方法とその場で口頭で提示する方法があります。1 事例を 1 時間程度で行います。提示された事例を〈見立て 8 型〉と〈5 ステージ傾聴技法〉で詳しく分析して、①クライアントの見立てを作ります。ついで②家族それぞれの見立て、さらに③家族のコンステレーションを検討します。これらの見立てが出来上がった前半は終了です。見立てが確定するまで非常にダイナミックなやりとりが行われます。後半では今後の治療・ケースワークの方針を立てることになります。そのために、カウンセリングの場合はカウンセラーが見逃している「隠れた葛藤」がないかどうかを検討します。ケースワークの場合は、クライアントの周りで一番困っている人（クライアントを心配している人）が誰かを分析します。これらをふまえて今後の具体的な治療・支援方針を立てていくことになります。

■ 子ども虐待の真の原因は？ 「虐待の世代間連鎖」のように見えるものの正体は？ 愛着の傷とは？

虐待の原因 / 虐待する母親の特性 / 「虐待の世代間連鎖説」研究レビュー / 被虐待者の心の傷 (C-PTSD) の回復過程

なぜ虐待が起こるのか、「普通の家庭」では決して虐待は起きません 虐待研究の中ではこれまで虐待する親の分析はあまり行われてきませんでした。子どもを虐待をする母親の特性を厚生労働省のデータ（『子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について』）の分析から明らかにします。母性が「普通に」機能している家庭では決して虐待は起こりません。なぜなら母親が子の苦しみや痛みを我がことのように感じてしまうと虐待のようなことは決してできないからです。

虐待の世代間連鎖説について検討します 「虐待をされて育った人は親になってから自分の子を虐待する」という虐待の世代間連鎖説は今でも広く信じられています。しかし、本当でしょうか？ セミナーでは児童虐待問題が広く社会に認識されるようになった 1962 年の Kempe の論文以降の虐待研究をレビューして最新の愛着研究の知見を報告します。虐待は連鎖しないという結論が出てきています。しかし一見連鎖のように見えるものがあります。それは何でしょうか。

虐待を受けた心の傷（複雑性 PTSD / 解離性障害 / 反復性うつ病 / 燃え尽き症候群など）は適切な治療で回復します 被虐待者の心の傷とは「愛着」を否定された傷です。子が母親に近づきたい気持ちが愛着で、生まれつきの根本的な欲求です。虐待を受けると子はこの欲求を頭から否定されてしまいます。その結果、子は自分は生まれてくる価値がなかったと自分を責めて、自己否定が生涯を通じての大きな傷になります。しかし、自分が受けてきた虐待の傷を知り、その原因となった家族関係を理解すると心の傷は回復します。子育てをしている女性の回復事例（産後うつ）からその回復のプロセスを学習します。

■ 精神疾患の正確な理解を持って現場での支援に役立てましょう

現場で重要な 3 つの精神疾患：統合失調症 / 発達障害・自閉症スペクトラム障害 / アルツハイマー型認知症を学び直す

デイケア・作業所・就労支援・介護などの現場で最も大切な 3 つの精神疾患をもう一度学び直します。専門学校や大学で学んだ知識を、現場を知った目からもう一度振り返ると全く違った側面が見えてくるはずです。

統合失調症・統合失調型障害 統合失調症にはまったく異なる 2 つの症状があります。急性期の陽性症状（幻覚妄想状態）と慢性期の陰性症状です。前者は激しい精神的興奮を伴う発症時の主要な症状ですが、服薬で落ち着きます。一方、後者は社会適応レベルを低下させる慢性的な症状です。これには薬はあまり効きません。クライアントはどちらの症状が中心なのか、2 つの症状をしっかりと区別して支援することが大切です。

発達障害・自閉症スペクトラム障害 発達障害は 4 つに分類されています。① 知的能力障害、② 学習障害、③ 注意欠陥多動性障害、④ 自閉症スペクトラム障害です。①～③の症状は互いに連続性があり、社会・人間理解が同年代に比較して未熟です。一方、④ 自閉症スペクトラム障害は全く異なる異質な人間理解をしています。両者を区別しないで、同じ方針で支援すると自閉症スペクトラム障害の人は追い詰められてしまいます。違いを理解して支援方法を再検討していきましょう。

アルツハイマー型認知症 3 大認知症のうち、① アルツハイマー型認知症は記憶障害（物忘れ）から始まり、その進行はゆっくりです。② レビー小体型認知症は睡眠障害や歩行障害などから始まります。③ 脳血管性認知症は脳出血・梗塞などの突然の出来事から始まり身体の麻痺を伴います。3 疾患に共通なことは、以前の正常な社会的な機能を失ってしまうことです。その無念さや不安が認知症の問題行動の背景にあります。そこを理解すると支援方法が変わります。

全コースの日程と講義内容

通年 本コース

	基本コース 全 6 回 奇数月の日曜日 10:00-15:30 ハイブリッド開催 アーカイブ配信	〈見立て 8 型〉の基本と傾聴技法を学び、ついで現場で最も重要な 4 つの見立て、2- 成人期、3- 思春期、4- 「軽度」知的能力障害、5- 被虐待者「異邦人」を詳しく解説します。
	上級コース 全 6 回 偶数月の日曜日 10:00-15:30 ハイブリッド開催 アーカイブ配信	愛着形成を軸に〈見立て 8 型〉をまとめ、カウンセリング技法〈葛藤崩壊療法〉の全体を学びます。ついで、2- 「成人学童期」、3- 統合失調症、4- 自閉症、5- 認知症 / 高次脳機能障害の 4 つの見立てを学びます。
	事例検討会 全 12 回 毎月の日曜日 16:00-18:00 会場での開催	守秘義務厳守のため会場開催のみ。会場の基本コース・上級コースに引き続いて実施されます。参加者から提出された事例をその場で検討し、見立てを作り、進行具合を評価して今後の方針を立てていきます。

テーマ別コース

	子ども虐待を理解する 3 連続講座 全 3 回 日曜日 10:00-15:30 ハイブリッド開催 アーカイブ配信	第 1 回目は「なぜ虐待が起きるのか？」を詳しく検討します。第 2 回、第 3 回は基本コースの 4 回、5 回と合同です。虐待の世代間連鎖説の検討を行います。
	現場で重要な 3 つの精神疾患を知る講座 全 3 回 日曜日 10:00-15:30 ハイブリッド開催 アーカイブ配信	デイケア、福祉 / 就労支援、介護などの現場で重要な 3 つの精神疾患：発達障害・統合失調症・認知症をもう一度、勉強し直しましょう。きっと支援方法が変わります。

各コースの参加費と受講を選択するヒント

会場（御茶ノ水ソラシティ）受講と、オンライン（Zoom）受講の 2 通りの方法があります。

会場での受講の場合は、講義後に引き続き事例検討会とセットになります。

オンラインを予約した場合でも、会場受講に変更することができます。（一ヶ月前から受付 / 変更料金  **6,000 円**）
ただし会場が定員に達した場合は、変更の募集を行わないことがあります。ご注意ください。

◆通年の「本コース」を中心に受講する場合（HCM に初めて参加する方に推薦）

	基本+上級コース+事例検討会(会場/毎月全 12 回)	132,000 円 (税込 / テキスト代込)
	基本+上級コース(オンライン/毎月全 12 回)	66,000 円 (税込 / テキスト代込)
	基本+事例検討会(会場/隔月全 6 回)	66,000 円 (税込 / テキスト代込)
	基本コース(オンライン/隔月全 6 回)	33,000 円 (税込 / テキスト代込)
	上級+事例検討会(会場/隔月全 6 回)	66,000 円 (税込 / テキスト代込)
	上級コース(オンライン/隔月全 6 回)	33,000 円 (税込 / テキスト代込)

これが一番お得！

テキスト代込
3,600～7,400 円お得

参加者の経験に応じてどのコースからでもご参加できます。ただし、講義は基本→上級の順で学んでいくように構成されていますので、上級は基本を学んでいることを前提に進みます。この点、ご注意ください。

◆スポット参加（興味ある講義をもう一度聞きたい、時間の都合でその都度受講を決めたい方などに）

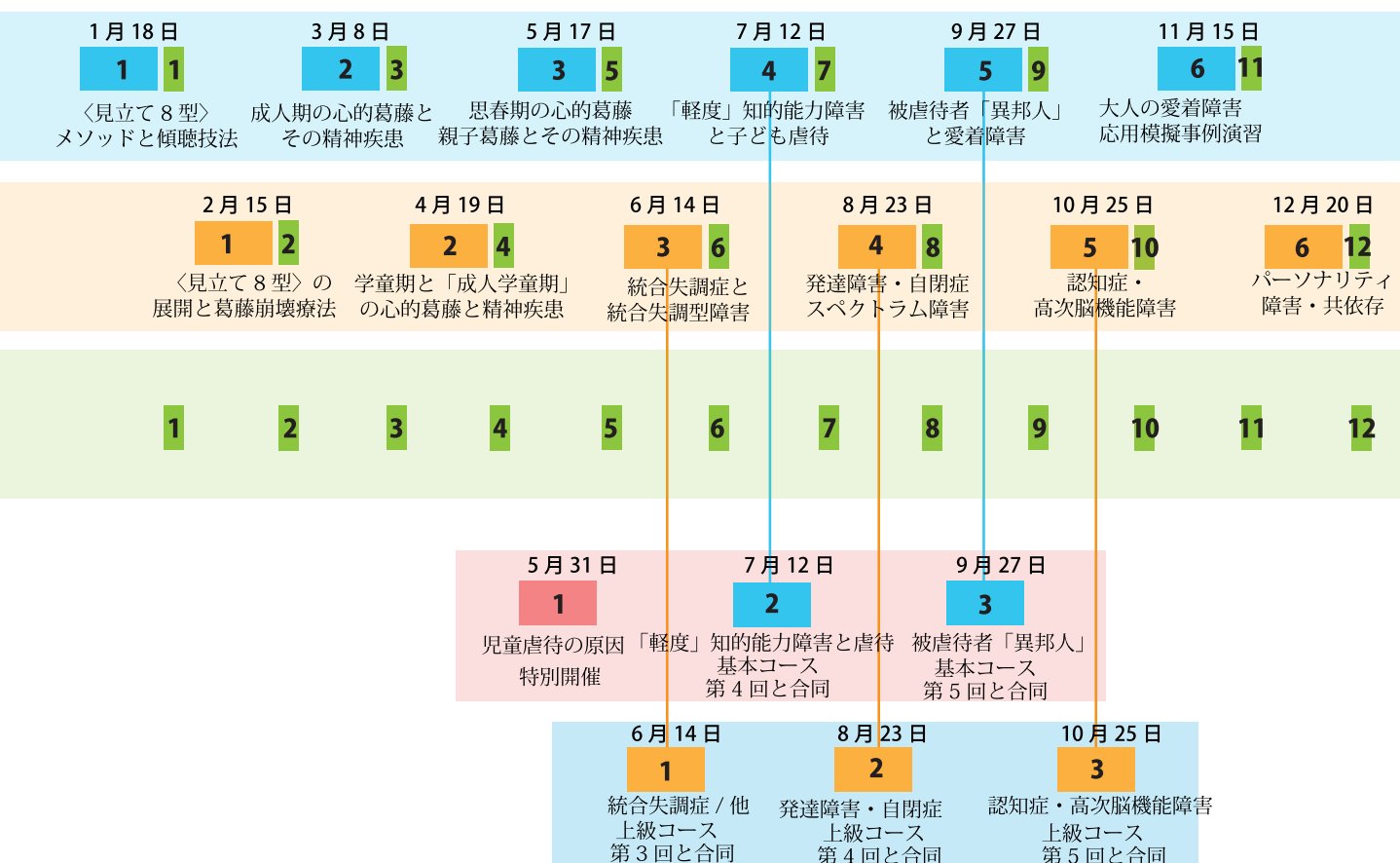
各コースのどこかの回（講義）だけを受講したい場合にご利用ください。全てのコース、全ての回で利用できます。スポット参加は開催日の 1 カ月前からホームページ上で募集を開始します。

会場スポットは定員に達している回は募集されない場合もあります。オンラインスポットの定員はありません。

	会場講義+事例検討会のスポット参加	12,000 円 (税込)
	オンラインのスポット	6,000 円 (税込)

2026

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



◆事例検討会だけに参加 (HCM の一通りの受講を終えて現場の実践を続けられている方などにお勧め)

- 事例検討会 (会場 / 全 12 回 / 年間を通じてお席が確保されます) 60,000 円 (税込)
 - 事例検討会 (会場 / スポット参加) 5,500 円 (税込)
- 会場が定員に達した場合はスポットの募集を行わないことがあります。ご注意ください。

◆テーマ別コースを希望する方 (まずは興味ある分野を勉強したい方にお勧め)

講義テキストをお持ちでない方は別途テキストの購入が必要です (本欄下)。子ども虐待は「基本コーステキスト」、3つの精神疾患は「上級コーステキスト」をご用意ください。

- 子ども虐待3連続講座+事例検討会 (会場 / 全 3 回) 33,000 円 (税込)
- 子ども虐待3連続講座 (オンライン / 全 3 回) 16,500 円 (税込)
- 3つの精神疾患を知る講座+事例検討会 (会場 / 全 3 回) 33,000 円 (税込)
- 3つの精神疾患を知る講座 (オンライン / 全 3 回) 16,500 円 (税込)

◆別途、テキストを購入する場合の料金 (アマゾン / 金剛出版からも購入できますが当事務局からの購入がお得です)

- HCM カウンセリングセミナー講義テキスト 基本コース第5版 (A4版 318ページ) 3,800 円 (頒価)
- HCM カウンセリングセミナー講義テキスト 上級コース第5版 (A4版 262ページ) 3,600 円 (頒価)

事例検討会を除き、各コースの受講を申し込まれた方には、アーカイブ配信を行います。

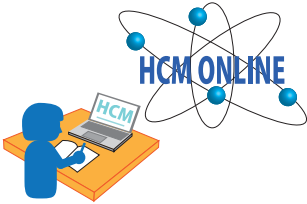
アーカイブ配信では、講義動画を後日、オンライン視聴できます。見逃しや復習に便利で、期間中は何度でも視聴可能です。配信期間はセミナー終了後、3日後の水曜日から14日目の日曜日までです。視聴用 URL とパスワードは、各回の3日後に配信するメールでご案内します。ホームページ <https://hcm-seminar.net/archive/> に視聴方法を御案内しています。



※ 講義システム改変の為、受講料の改訂を行いました。ご容赦頂たく御願ひ申し上げます。

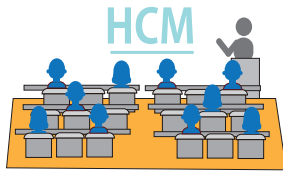
お茶ノ水会場・自宅でオンラインの2つの参加方法

ハイブリッド方式（会場＋オンライン）＋アーカイブ配信（オンライン講義動画の配信）



オンライン配信
（ご自宅で）

Zoomを用いてパソコン、スマホで簡単に接続できます。



会場での開催
（東京・御茶ノ水）

セミナー終了後は、引き続き事例検討会を行います。

- ①御茶ノ水会場での参加、②ご自宅でオンライン (Zoom) で参加の2つから参加方法を選べます。
会場参加の場合は講義 (10:00-15:30) と事例検討会 (16:00-18:00) がセットになります。
「事例検討会のみ」参加も可能です。会場で「講義のみ」参加の場合は、終日と同じ参加費となります。
守秘義務を厳重に管理するため、事例検討会のオンライン配信はありません。

	10:00	12:00	13:00	15:30	16:00	18:00
①会場での開催	講義と質疑応答	昼休	講義＋模擬事例演習	事例検討会		
②オンライン配信	講義と質疑応答	昼休	講義＋模擬事例演習			

■ランチョンセミナー：講義に関連するトピックを取り上げます P6

- ③アーカイブ配信 オンライン配信した講義動画をアーカイブ配信します。配信期間はセミナー3日後の水曜日から14日後の日曜日です。視聴に必要なURLとパスワードは、**セミナー3日後**に配信するメールにてお知らせします。
ホームページ <https://hcm-seminar.net/archive/> に視聴方法を御案内しています。



申込方法

ステップ1：メンバー登録

■ HCM カウンセリングセミナーに参加するためには、**メンバー登録**が必要です。HCMのホームページ(下記のQRコード)から登録ができます。
登録の際に参加資格を確認させていただきます。

■ 参加資格

カウンセリング、ケースワーク、医療、保健、福祉、介護、教育、他の相談業務などに関わる有資格の専門職の方。

1. 医師・保健師・看護師・公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士・産業カウンセラー等、専門資格（公的資格、民間資格を問いません）をお持ちで、守秘義務を十分に理解する方。

2. 上記の資格以外の方や医学系・心理系・福祉系などの専門学校、大学の学生の場合は事務局で個別の許可を得てください。守秘義務についての説明をさせていただきます。

■ **受講ID**：メンバー登録が完了すると受講IDが発行されます。HCMが主催するセミナーの参加に必要なIDです。（受講ID＝4桁の数字＋名前（姓）、例：9123 神田）



ステップ2：セミナー参加申込

HCM ホームページ <https://hcm-seminar.net>

- **申込受付開始**：2025年11月30日（日） ホームページで基本・上級コースの受付を開始します。（※テーマ別コース、スポット参加は開催日の1カ月前から受付開始します。）
支払期限、キャンセルの扱い、セミナー中止時の返金等につきましては、ホームページのキャンセルポリシー（<https://hcm-seminar.net/cancelpolicy2026/>）をご参照ください。

セミナーでお会いしましょう

■一般社団法人 HCM カウンセリングセミナー事務局（あさくさばしファミリーカウンセリングルーム内）
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-15 リバーサイド浅草橋 803
tel 03-5809-2589 / e-mail : info@hcm-seminar.net （お問い合わせはメールにてお願い致します）

講師紹介 / セミナー参加者のプロフィール

■ 高橋 和巳

■精神科医 医学博士 1953 年生
■風の木クリニック院長(千代田区・隼町) <https://www.kazenoki.jp/>

慶應義塾大学文学部を中退、福島県立医科大学を卒業後、東京医科歯科大学にて睡眠脳波・大脳生理学・脳機能マッピング等の脳科学研究を行った。長く都立松沢病院に勤めて統合失調症などの精神科一般の診療の他、精神科救急やアルコール専門外来、家庭内暴力・拒食症・引きこもり等の家族問題に関わってきた。同院精神科医長を退職後は 2004 年に風の木クリニックを開業し診療を続けている。カウンセラーの教育のために当「HCM カウンセリングセミナー」の講師を続け、子ども虐待問題の理解のためにさまざまな研修や事例検討を行っている。

著書に『大人の愛着障害』、『親は選べないが人生は選べる』、『精神科医が教える聴く技術』、『「母と子」という病』(ちくま新書)、『消えたい』、『子は親を救うために「心の病」になる』、『人は変えられる』(ちくま文庫)、『新しく生きる』(三五館)、『私は悪い子?』(学習研究社) など多数がある。

■ 野口 洋一

■公認心理師 精神保健福祉士 1961 年生
■あさくさばしファミリーカウンセリングルーム室長(台東区・浅草橋) <https://www.asakusabashi.net/>

早稲田大学、明治学院大学卒業。心理学、精神保健学、ソーシャルワーク等を学ぶ。精神科医療機関に PSW として勤務し(依存症病棟・外来)、主に嗜癮関連問題、家族関係問題に取り組む。その後は 1998 年 4 月にあさくさばしファミリーカウンセリングルームを開設し、現在に至る。上記の他、引きこもりや摂食障害など思春期問題、うつや育児不安など大人のメンタルヘルス、虐待被害など心的外傷問題に至る幅広い分野でカウンセリングやスーパーヴィジョンを行っている。プライベートプラクティスの他、都立精神保健福祉センター助言者(嗜癮関連問題・思春期問題助言者)、杉並区、豊島区、練馬区など各区保健センター、子ども家庭支援センター助言者(虐待困難事例)、東京保護観察所アドバイザー研修講師等を務める。社会福祉法人ぱれっと理事長。著書に『家族の心理 変わる家族の新しいかたち』(金剛出版)がある(分担執筆)。

■ セミナー参加者のプロフィール

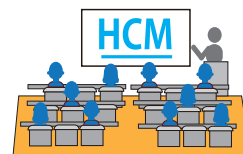
セミナーに会員登録をされた方々のプロフィール(資格と所属機関)を紹介します(2025 年 10 月現在、1360 名登録)。



- 現場別の講義の選び方ヒント (本コースを受けるのが理想ですが、忙しい方のために以下のような組み合わせの推薦があります)
- ◆カウンセリング技法(葛藤崩壊療法)をまず学びたい: 基本1+基本2+上級1
 - ◆高齢者虐待の現場にいる: 基本1+基本4+上級5
 - ◆児童虐待の現場にいる: 「子ども虐待の3連続講座」
 - ◆教育現場で不登校問題をかかえている: 基本2+基本3+基本5
 - ◆作業所・デイケア・就労支援で仕事をしている「現場で重要な3疾患」のうち必要なもの+基本5
 - ◆保護観察所/社会復帰調整官の仕事をしている: 基本4+基本5+上級3
 - ◆産業保健分野・EAP: 基本1+基本2+基本5(+上級2)

相談援助のための〈見立て8型〉メソッド

HCM カウンセリングセミナー 2026 全コースご案内



Zoom アプリによるリアルタイム配信

ご自宅のパソコン、スマホ、タブレットで かんたんオンライン受講

1. あらかじめ端末にZoomアプリをインストール



2. セミナー3日前に事務局からZoom視聴用URLのメールが届く



3. セミナー当日、URLにアクセスして視聴開始!

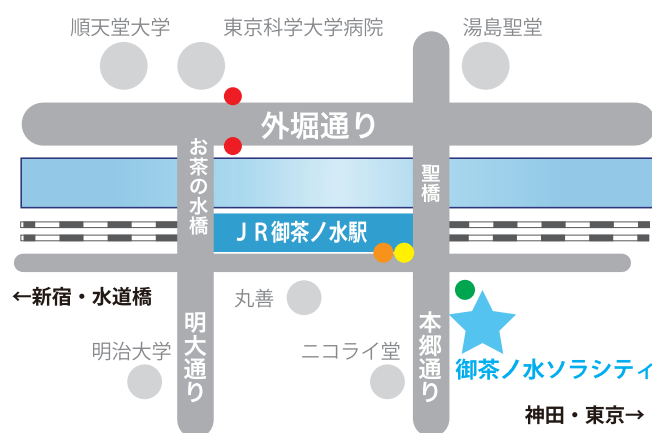


会場開催 東京・御茶ノ水ソラシティ 1階 Room B

御茶ノ水ソラシティ

03-6206-4855

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6



- JR 御茶ノ水駅 聖橋口 1分
- 地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 B2 出口 2分
- JR 総武・中央線
- 地下鉄丸の内線 御茶ノ水駅 1・2番出口 4分

アーカイブ配信 見逃し・復習のため何度でも視聴可能



- 配信期間：
セミナー実施後、3日後の水曜日～14日後の日曜日まで
- 視聴方法：
指定のURLに接続し、パスワードとメールアドレスを入力
- 指定のURLとパスワード：
セミナー3日後に配信するメールでお伝えします



主催 HCM
High-expertise Counseling Method

専門家のためのカウンセリングセミナー

■一般社団法人 HCM カウンセリングセミナー事務局（あさくさばしファミリーカウンセリングルーム内）
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-15 リバーサイド浅草橋 803
tel 03-5809-2589 / e-mail : info@hcm-seminar.net （お問い合わせはメールにてお願い致します）